

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1999), 72(2): 234-234
Issue Date	1999-05-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/96589
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成11年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第72巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.72 no.2

物性研究

1999 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

雪とインフルエンザをもたらした冬が終わったと思ってたらはや五月になった。四月以来キャンパスは学生であふれ、昼時には食堂に長い列ができる。連休が終わっても混雑は減らない。学内の旅行センターに列車の切符などとりに行くとグループ旅行の計画中らしき人々が番号札を手に手に待っている。大学の大衆化という言葉が浮ぶ。ここ数年、大学院生も PDF もたくさんになってその一翼を担っているのかもしれない。

長いタイトルの報告書(*)をみると「博士課程修了者の就職先が多様化せず、企業の採用が増加しない場合には供給過剰が深刻な問題をもたらす可能性がある」し、その PDF 自体、増えたとはいえ「必ずしも研究者養成に重点を置いているわけではなく、場合によっては、研究推進が主たる目的の場合も有り得る。このため、(中略)自己の責任において判断することが必要である」とある。当事者にとってみれば並んでいても番号札を持っていたり先が不透明だとさぞや辛いことであろう。一人として大衆化したくて大学院に来た人はあるまいに。

梅、コブシ、桜、ハナミズキ、堇、オダマキ、ツツジ、紫陽花...と、春から夏へ季節の動きが見える。四季は歳々めぐるとも、世の中じわりじわりと動いている。物理に限らず、研究の中身も研究を取巻く環境も徐々に変化する。個人や少数では手に負えない事もあるがそれでも自分で考えて思うところをなす機会のようにも思える。今春進学した人、学位取得した人、その他、何かに着手した人に Good Luck!

(* 科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について：

学術審議会・経過報告書 <http://www.monbu.go.jp/singi/gaksin/00000216/>)

(K. S.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
吉岡 英生 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

雪とインフルエンザをもたらした冬が終ったと思ってたのは五月になった。四月以来キャンパスは学生であふれ、昼時には食堂に長い列ができる。連休が終っても混雑は減らない。学内の旅行センターに列車の切符などとりに行くとグループ旅行の計画中らしき人々が番号札を手に手に待っている。大学の大衆化という言葉が浮ぶ。ここ数年、大学院生も PDF もたくさんになってその一翼を担っているのかもしれない。

長いタイトルの報告書(*)をみると「博士課程修了者の就職先が多様化せず、企業の採用が増加しない場合には供給過剰が深刻な問題をもたらす可能性がある」し、その PDF 自体、増えたとはいえ「必ずしも研究者養成に重点を置いているわけではなく、場合によっては、研究推進が主たる目的の場合も有り得る。このため、(中略)自己の責任において判断することが必要である」とある。当事者にとってみれば並んでいても番号札を持っていたり先が不透明だとさぞや辛いことであろう。一人として大衆化したくて大学院に来た人はあるまいに。

梅、コブシ、桜、ハナミズキ、堇、オダマキ、ツツジ、紫陽花...と、春から夏へ季節の動きが見える。四季は歳々めぐるとも、世の中じわりじわりと動いている。物理に限らず、研究の中身も研究を取巻く環境も徐々に変化する。個人や少数では手に負えない事もあるがそれでも自分で考えて思うところをなす機会のようにも思える。今春進学した人、学位取得した人、その他、何かに着手した人に Good Luck!

(* 科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について：

学術審議会・経過報告書 <http://www.monbu.go.jp/singi/gaksin/00000216/>)

(K. S.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
早川 尚男 (京大・人環)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
吉岡 英生 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第72巻第2号（平成11年5月号） 1999年5月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費 1st Volume (4月号～9月号) 4,800円

2nd Volume (10月号～3月号) 4,800円

計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 72-2 (5月号) 目 次

○確率的フィードバックを受ける力学系における間欠的振舞と 1/fゆらぎ.....橋本 昇、豊田 規人.....	89
○砂山における Segregation と Stratification の形成過程野口 真保.....	102
○研究会報告 「量子ホール効果及び関連する物理」.....	113
○編集後記.....	234

物 性 研 究 72-2 (5月号) 目 次

○確率的フィードバックを受ける力学系における間欠的振舞と 1/fゆらぎ.....橋本 昇、豊田 規人.....	89
○砂山における Segregation と Stratification の形成過程野口 真保.....	102
○研究会報告 「量子ホール効果及び関連する物理」.....	113
○編集後記.....	234